

高岡ロータリークラブ

会長／西村博邦 幹事／竹中伸行



2017/10/12

ロータリー：
変化をもたらす No. 15

Rotary: Making A Difference

例会日：木曜日 12:30~13:30 創立：1951/11/15 チャーターナイト：1952/4/15 創立順位：No.68

司会 中川 会場監督 点鐘 西村 会長

国歌斉唱／ロータリーソング

ロータリーの目的 朗読／四つのテスト 唱和

ゲスト 富山大学 学長 遠藤 俊郎 氏

会長挨拶／報告

■誕生祝

板谷 聡 君 [10/13・62才]

岡本 一剛 君 [10/18・45才]

幹事報告

■配布／クラブ内規改正の資料

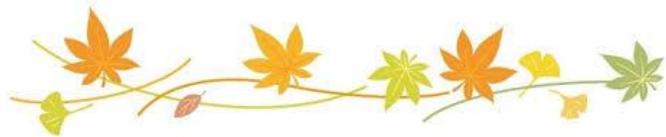
ニコニコBOX < 4件 12,000円 >

西村会長／新学部開設に向けて大変お忙しい中、遠藤富山大学学長には卓話をお引き受けいただき感謝いたします。そして地域の活性化にさらに御尽力されることを祈念いたします。

伏江副会長／富山大学学長 遠藤様をお迎えして。卓話よろしくお願いいたします。

竹中幹事／富山大学 遠藤学長、本日の卓話よろしくお願いいたします。

板谷君／誕生祝ありがとうございます。今年も富山マラソン走ります。



◆本日のプログラム◆

卓話

『革新・改革から革命の時代へ』
富山大学 学長 遠藤 俊郎 氏



私は1971年に大学を卒業し、2011年に現職に着くまで40年間、脳神経外科医師として大学・医療現場で活動を続けてきました。

医師になった当時、今ではどの病院でも整備されている脳・人体のコンピ

ューター断層撮影装置（CT スキャン）は、未だ世界に存在しておりませんでした。初のCTが英国東芝EMI社より市場に出たのは1972年で、本邦第1号機の導入は75年でありました。なお当時一世を風靡していたビートルズの所属が東芝EMIで、「ビートルズのレコード売上がCT スキャンを創った」と言われておりました。その後も様々な先進的画像・機能検査機器・測定法の開発・普及、治療面での革新的進歩があり、人々はその恩恵を十分享受してきました。

「今見えるものはすべて過去のもの。論文も活字になったら過去のもの。ノーベル賞も貰えば過去のもの。新しいものは全てその先にある。お前たちは、それを考え、見つけ出し、『作品』として残す努力をせよ。」私の恩師（鈴木二郎東北大学脳神経外科初代教授）の言葉です。私は、何もなかった時代に医師生活をスタートし、知識を学ぶというよりも、知識を自身で作る感性を持ちながら40年を過ごしてきました。今となれば幸せな時代だったと思います。一方で、新しい社会・世界の変化に大きな戸惑いを覚えています。1970年代に始まった革新・新機軸（innovation）の動きは、90年代以降の大きな変革・改革（drastic change, reform）の波となり、さらに最近では新しい革命（revolution）の時代へと動きを早めているようです。科学／技術開発の開発は、インターネット／スマホから人工頭脳／スーパーコンへと変化し、器械が人間能力を制するシングルリティ世界の到来も現実味を帯びてきました。だからこそ、人の多様性と心の機微・豊かさは大切にしていきたいものです。

新しい時代に向かい、皆様の益々のご奮闘ご発展を祈念します。

出席報告 7/1期初 70名 （名誉会員2名）

正会員／74名 出席免除／3名（本日出席0名）
本日の出席率／69.0%
前々回の出席率／100%

